

令和2年第1回名取市教育委員会定例会 会議録

1 会議の年月日

令和2年1月30日（木）

2 会議の場所

名取市役所6階西側会議室

3 出席した者

教育長 瀧澤 信雄

教育長職務代行委員 佐藤 俊隆

教育委員 浅野 かおる

教育委員 洞口 ひろみ

教育委員 荒井 龍弥

4 欠席した者

なし

5 説明のために出席した者

菊池教育部長、大友理事兼学校教育課長事務取扱、大友教育部次長兼庶務課長、大久保次長兼生涯学習課長、小松文化・スポーツ課長補佐、佐々木復興ありがとうホストタウン室長総括リーダー、齋藤教育部企画員兼庶務課長補佐

6 議事日程

日程第1 前回会議録の承認

日程第2 会議録署名委員の指名

日程第3 教育長報告

(1) 一般事務報告

(2) 行事予定

日程第4 議 事

議案第1号 令和2年度学校給食費について

7 開会時刻

午後3時01分

8 会議の概要

瀧澤教育長

ただいまより令和2年第1回名取市教育委員会定例会を開催いたします。日程第1 前回

会議録の承認についてですが、前回 12 月 23 日開催の令和元年第 12 回定例会会議録については、先日、各委員宛配布済みであります。この内容についてご質疑等ありませんか。

全委員

なし

瀧澤教育長

なければ、承認いたします。次に日程第 2 本日の会議録署名委員に浅野委員並びに洞口委員を指名いたします。よろしく願います。

次に、日程第 3 教育長報告（1）一般事務報告について、はじめに私から 1 月 22 日水曜日に発生しました愛島小学校スクールバスのコース逸脱に関する当時の状況と今後の対応について報告させていただきます。

お手元の資料 1 と資料 2 と地図、1 月 31 日付愛島小学校保護者あての文書、資料と地図を並べながら私の話を聞いていただければと思います。まず、資料 1 がおととい実施いたしました保護者説明会の資料となっております。まず、スクールバスの運行です。愛島台地区の子どもたち 200 人弱いるのですが、その子供たちの通学のために愛島台と学校の間を、朝は 2 台のバスが 3 往復しています。帰りはそれに 1 台加えてバス 3 台が時間を変えて 3 往復して、子供たちの送迎をしています。

資料 1、コース逸脱時の状況等というところを見ていただきたいのですが、地図も併せてご覧ください。当日、1 号車の第 3 便目には 1 年生と 5 年生 33 名が乗車しておりました。通常ですと 7 時 47 分には愛島台を出発するはずですが、第 2 便から遅れが出てきて実際に愛島台を出たのは 8 時 7 分でした。そのあと、愛島小学校方面に向かう下り坂の途中でも、赤信号で止まって青信号になっても進まないとか、かなり低速で走行するなどのやや不自然な走行がみられました。

そして 8 時 22 分。地図でいうと、渋谷材木店という店があります。そこを左折して愛島小学校の方に向かうのが通常のルートなのですが、そこを左折せずに北上して行きました。約 18 分間北上を続けて宮城運輸株式会社という会社の前で止まりました。渋谷材木店から宮城運輸まで約 5.9 キロ距離があります。

私自身、走って見たところ 10 分くらいあれば法定速度でいける距離なのですが、当日は 18 分かかっています。その道を外れてからの運転については、交通事故はおこしていませんが、信号が変わっても出発しないということが度々あったということです。

子どもたちはコースを外れているとか、道が違うとかを運転手に訴えていたのですが、運転手はそのままずっと走行して宮城運輸前で停止したというようなことです。コース逸脱の運転の原因ですが、1 号車運転手は 63 歳の男性で、糖尿病の持病があり、当時は低血糖状態で判断力が低下していたと思われます。宮城運輸の前まで来てどうしても具合が悪くて運転できなくなったと話していたようです。

その後、救急搬送され、運転手さん自身は 2 時間ほどで体調を回復したようです。教育委員会と学校は運転手とあってはおりませんが、本人は、渋谷材木店前を直進してしまい、迂回路を探しながら走行し、体調が悪くなったと宮城運輸前で停止したと話している

そうです。宮城運輸では、普段見られないバスが止まっているということで、バスの運転手に声をかけたところ、具合が悪くて運転できないと運転手が言っていたそうで、宮城運輸の方が東北観光バスに連絡にさせていただいて、事態が分かったという状況です。

この間、学校とか教育委員会には、東北観光バスとかからは連絡がなく、外部からのいろいろな情報で把握したという状況です。この事態を受けて子どもたち 33 名が乗っていましたが、代わりの運転手さんが宮城運輸のところまで行って、そのバスを運転して学校まで戻りました。約 1 時間位遅れて学校への到着でした。子どもたちは、不安を訴えたり、保健室では頭痛、胸が苦しいとかいう子もおりまして、保健室の様子を見ながら当日は学校からすべての保護者に連絡して迎えに来ていただいて下校させています。

対応としまして、職員と教育委員会からも、指導主事・学校教育指導専門員が行って対応にあたりました。また、県の方に緊急スクールカウンセラーの派遣を要請致しまして、翌日と翌々日の 2 日間愛島にスクールカウンセラーを派遣してもらいました。

実際にカウンセリングを受けた子は 2 日間で 3 名だったのですが、今週になっても不安がぬぐえないという子が何名かいます。先週そういう子ども達の不安な状況が学校や教育委員会にも寄せられていました。問題のバス会社は東北観光バスなのですが、令和元年度から 3 年度までの 3 年間の長期の委託契約を結んでおりました。ですが、このまま東北観光バスが運行を続けていたのでは、子ども達や保護者の不安を軽減することは非常に困難だということから、先週の段階で東北観光バスとの契約は一旦契約をストップし、今週から別の会社に運行をしてもらうということを探ってまいりました。

金曜日の午後に東北観光バスの社長・営業所長と私と部長が話し合いをし、協議の上先週末を持って一旦契約解除するという事で合意しました。今週の月曜日からは、昨年度まで愛島小学校のスクールバスを 3 年間運行していた、東日本観光バス(株)に運行をお願いしました。

今回、急な対応なので現時点では 3 月末まで東日本観光バスにお願いし、新年度 4 月以降につきまちは、適切な業者と再度契約を締結して運行していただくことを考えています。

名取市ではスクールバスを委託している業者がこのほかにも、閑上小中学校のスクールバスをタクヤ交通にもお願いしております。また、閑上小中学校では被災児童生徒用のスクールバス、これは利用者数が少なくなってきたので、タクシーを 2 社にお願いしております。そこに東北観光バス、東日本観光バスなどを対象に 1 月 28 日に集まさせていただいて、契約時には緊急時の対応、運転手の健康管理などは確認した上で契約しておりますが、再度確認するという集まりの会を持ちました。

資料 2 です。説明会は 1 月 28 日に行ったわけですが、参加していない方のために資料 2 をすべての保護者に配布いたしました。説明会は 1 月 28 日午後 7 時から愛島小学校の体育館で行いましたが、保護者や一部地域の方 141 名が参加されました。愛島小学校の PTA 会員は、750 名位だったと思いますので、主として愛島台の保護者が多かったと思います。

教育委員会と小学校、それから東北観光バスが説明をした時に質問がありましたが、ご意見の内容の 1 つは、「東北観光バスへの不安、健康管理の問題、緊急時の対応も十分でなかった」こと。それから当日、「学校や教育委員会の対応が遅かった」のではないかと、そういったご意見がありました。これらの対応について、子ども達の心の問題、それから運行体制とか、緊急時対応が心配などの意見が出ました。

この説明会の結果を受け、市長部局と調整しながら対応策を検討してまいりました。1月31日付資料を見ていただけるでしょうか。当面スクールバスの運行時の対応等について、大きく2点について愛島小学校の保護者の方にお知らせをしたいと考えております。

1点目は、2月・3月愛島台のバスは、朝は2台、帰りは3台運行しているわけですが、1号車にバス会社の添乗員を同乗していただく。今週いっぱいには愛島小学校の職員が同乗して様子を見守っていただいております。来週からは添乗員さんが1人つくということになっております。説明会でも運転手だけだと、何かあった時対応できないのではないかという意見がありました。名取市でお願いしているすべてのスクールバスを2名体制にするのは無理があるので、今回、まだ子どもたちや保護者の不安が残っていること、東日本観光バスが去年運行していたとはいえ、急遽スクールバス運行をお願いしているということで、緊急時に適切な対応ができるように今年度いっぱいには、添乗員を1名付けてもらうということにしました。

次に、東日本観光バスに協力してもらい、学校と教育委員会が連携し、緊急事態が発生した場合を想定した実地訓練を2月19日午前中に実施したいと考えております。そこで、マニュアルどおりの対応ができるかを検証して、より実効性のある、詳細なマニュアルを今月中には整備したい。4月からはそれに基づいてバス会社がどこなるのかはわかりませんが、ワンマンで運行していきたいと考えております。

説明が十分でない点もありますが、1月22日の愛島小の状況について説明させていただきました。皆様からこの件について質問等があればお伺いいたします。

全委員

なし

瀧澤教育長

よろしいでしょうか。それでは、続けて教育部長からお願いいたします。

菊池教育部長

それでは、資料は2ページ、3ページになります。私からは令和2年1月29日水曜日、昨日の大雨警報に伴う対応について口頭でご報告させていただきます。

昨日14時18分、大雨、土砂災害、暴風、波浪警報と雷、洪水注意報が発令されたことから、15時27分に1号配備、警戒本部体制となり、第1回警戒本部会議を開催しました。16時、自主避難所を7か所開設しました。東北本線から西側地域への対応として、増田西公民館、名取が丘公民館、愛島公民館、高館小学校、みどり台中学校、相互台公民館に職員を各2名配置しました。館腰地区については、民間施設の弘誓寺の協力をいただきましたが配置職員なしで対応いただきました。また、同時にHP、ツイッター、FB、登録制メール、Lアラートにて周知しました。

17時27分、第2回警戒本部を開催しましたが、避難者数は17時現在で0人でした。

18時25分、第3回警戒本部を開催しましたが、避難者数は18時現在で0人でした。大雨土砂災害警報は18時6分に大雨注意報に切り替われ、暴風、波浪警報は継続でした。このた

め、18時30分をもって避難所を閉鎖、警戒本部は1号配備から0号配備へ切替ました。

19時35分、0号配備を廃止しております。私からは以上です。あとは各課から報告をさせていただきます。

瀧澤教育長

それでは、庶務課お願いします。

大友教育部次長兼庶務課長

庶務課からは特にありません。

瀧澤教育長

学校教育課お願いします。

大友理事兼学校教育課長事務取扱

3点お話いたします。1点目2ページの26番、心のケアに関する研修会です。市内の先生方約30人が参加をし、兵庫こころの医療センターの臨床心理士 中谷恭子先生から、メンタルケアについてのお話をいただきました。支援者自身の心のケア、セルフケアが必要だということなど、実践に生かすことのできる充実した研修会でした。

2点目は2ページ27番、プログラミングを取り入れた算数の授業実践の公開です。令和2年度から小学校でプログラミング教育が始まります。増田西小学校で行われた授業は、正多角形の作図についてコンピューターを活用しての実践でした。子ども達は意欲的に学習に取り組んでいました。情報活用能力を身に着けさせていくための実践を確実に進めていきたいと思っております。

3点目は3ページ40番、子どもの心のケアハウスはなもも教室運営連絡会です。はなもも教室の運営は順調に進み、子ども達の居場所として充実した活動ができつつあります。昨日校長先生、教頭先生、生徒指導の担当の先生方の代表と連絡会を開催しました。子どもたち同士のかかわりができていること、進路指導に当たってはなもも教室から、多くの支援をいただいていること。そして子ども達に少しずつ自信が芽生えていることについて多くの励ましと意見をいただきました。次年度はさらに充実した運営を進めることができるよう計画を練り上げていきたいと思っております。

瀧澤教育長

生涯学習課お願いします。

大久保次長兼生涯学習課長

生涯学習課から、2点報告させていただきます。2ページ22番、1月12日に令和2年成人式を文化会館大ホールで開催いたしました。ご出席いただき、ありがとうございました。新成人該当者は、居住以外の方53人を含め、882人でありました。当日の出席者数につきましては644人で、出席率は75.3%でした。昨年は、出席率72.3%でしたので、出席率といたしまし

ては、3ポイントの増加、人数では52名の増となっております。

2点目は、23番の図書館開館1周年記念事業です。1月12日、ノンフィクション作家の柳田邦男さんの講演会を開催し、定員150人のところ165名の参加を頂きました。

瀧澤教育長

文化・スポーツ課、お願いします。

小松文化・スポーツ課長補佐

文化・スポーツ課からは特にございません。

瀧澤教育長

復興ありがとうホストタウン推進室お願いします。

佐々木復興ありがとうホストタウン室総括リーダー

復興ありがとうホストタウン推進室からは特にございません。

瀧澤教育長

只今説明のあった内容につきまして、ご質疑などありましたらお願いします。

佐藤教育長職務代行委員

避難所の開設についてです。基本的には教育委員会が管轄する施設、職員を配置するというのでしょうか。

菊池教育部長

避難所は、公民館・小中学校などの施設などが対象となるのですが、一部の場所、先ほど申し上げた場所では、あらかじめ職員配置が決まっております、各部各課の割り当てが決まっております。

先日ですと、主に教育部の職員、公民館の事務長と割り当ての職員の一部が配置されましたが、小学校と中学校については健康福祉部と建設部の職員が配置されました。

瀧澤教育長

今年度は台風19号とか、その前後の大雨で避難所の開設をしています。学校や公民館、館腰地区の避難所については弘誓寺を自主避難という場所にしましたが、館腰公民館が床下浸水したこともあって、市長部局、防災安全課で指定避難所の在り方を検討していて、近いうちに見直しの会議も持たれることになっています。

他にご質問などありましたらお願いします。はい、荒井委員。

荒井委員

プログラミング教育の話がありました。確かに小学校でプログラミング教育の実施がうた

われています。最終的に文科省が3クラスに1クラスでしたかパソコンの整備をうたっていますが、パソコン環境の配置、対応はどうか。

大友理事兼学校教育課長事務取扱

既に2018年から22年までの5ヶ年で、3クラスに1クラス分の児童生徒用の端末を備えるということが、地方財政措置で講じられています。一般的にこれがICTですよというような予算付けはされていないので、教育委員会では確かな学力向上授業の一環として、学校にiPad・タブレット端末を通常配布するというような計画を進めていたところです。GIGAスクール構想というのが国の方から示されて、それとは別個にすべての児童生徒に、端末を1人1台配付するというので準備をしています。

それに合わせて、高速通信設備も整えるということで、先週22日に県で説明会もあり担当者が参加しております。将来的には1人1台の端末になるようです。今日も午前中、教育部内でどういった形で進めていけばいいのか、高速回線を整えるということをして令和2年度に、それに合わせてタブレット端末を充電する電源ボックスのようなものを各教室に備えなければならない。3分の1はもうすでに予算措置されているわけですから、残り3分の2をこれからの補助金という形ですが、各自治体でそこまでそろえているところは中々ない。

何せ7500台の端末を用意するとなると、膨大な時間と予算とそれをどう指導していくのかも見据えた学校のありようが問われているので、その点について県とも連絡を取りながら、近隣自治体とも調整を図りながら、何とか乗り遅れないように進めていきたいと思っています。

荒井委員

はい、ごもっともです。よろしくお願いいたします。

瀧澤教育長

このプログラミングの算数の授業の実践は、実際私もちょっと行っていたのですが、ここでやったのも既存のコンピューター室に整備をしている児童生徒用のノートパソコンを使って、ネットにはつながっていますので、それを使っての「キャラクターがどういうふうに進む指示を出せば正五角形ができるか」とか、例えば「10メートル直進して右の方に何度曲る指示」と、そういう指示を子ども達が考えて、最終的に正多角形が描けるというようなことをベースに行いました。小学校のプログラミングの狙いは、プログラミングそのものを学ぶのではなく、プログラミング的な思考を子ども達に学ばせるということですので、いくつかの画面でコンピューターを必ずしも使わなくても指導はできるわけです。

今後、その算数の図形のところと、理科の電磁石や電気の学習と総合的な学習の3つを、必ず取り扱わなければならないことになっています。その辺は各学校で準備していますし、必要な予算措置も学校教育課で考えているところです。

私も実際現場で指導していたことがない内容なので、その辺研修していかなければいけないと思っています。その他ご質問等ないでしょうか。

佐藤教育長職務代行委員

今のお話を伺って、7500 台ってメンテナンス料とか考えるとぞっとします。そのこと考えているのですか。

瀧澤教育長

それはできればもし揃うとしたらですけども、メンテナンスに関してはリース契約を結ぶことになります。買取にするとそのあとのメンテナンスが実際には単独でやらなくてはならなくなる。それにしても先生方のパソコンとか児童生徒用のパソコンのトラブルとかを見てみると、学校教育課でかなり対応・苦労しています。7500 台となると維持管理とか、数年で古くなってしまうそういったことを考えると、なかなか今後その辺までを見通すとなると、いろいろな課題があると思われます。

今のコンピューター室の児童生徒用のパソコンは、教科・いろいろな学習で使っているのですが、1 人 1 台となると小学校・中学校でどういう学習でそれを活用するのが効果的なのか、無理に使わせるのは避けたいと思うのです。振り回されないようにしなければならないという思いもあります。課題がたくさんあります。今後、進捗状況についてはいろいろな機会に委員の皆様にも報告をしながら取り組んでいきたいと思っています。その他今のギガ・スクールとかプログラミング教育についてご質問ご意見がございますか。荒井委員。

荒井委員

ICT 支援員はどうなっていますか。1 人は OK だと思っていたのですが。

大友理事兼学校教育課長事務取扱

1 人 1 台の端末とそれを活用するための高速通信回線等の設備を整えなさいという説明は受けていますが、ICT 支援員はその予算内に入っていない。補助金は端末 1 台につき 45000 円まで補助します。通信設備は 8 割までは補助します。さらに持ち出しは 2 割になりますといわれています。ICT 支援員となると、人探しから始まります。

瀧澤教育長

この ICT 支援員については、私もわからないところもあります。加配の枠で生徒指導を教えるとか、指導法改善、通級、加配の枠で予算を取ってあるのかもしれませんが。少人数加配なども減らされたり、加配の配置が学校要望どおりにいかないことがあるので、もしかするとそういうことが入っているのかもしれませんが。具体的に宮城県の方で ICT 支援員の配置についての方向が知らされていないのが現状です。ニーズは絶対あると思います。

他に何かありますか。なければ承認としたいと思います。

次に (2) 行事予定について部長お願いします。

菊池教育部長

資料は 4 ページと 5 ページになります。私からは特にありませんが、次回の定例会及び懇話会の日程につきましては、後の協議の際にお願いします。あとは、各課から報告をさせて

いただきます

瀧澤教育長

それでは、庶務課お願いします。

大友教育部次長兼庶務課長

庶務課から、1点ございます。4ページ5番、2月4日に開催されます、第3回名取市教育振興基本計画策定委員会についてです。今回の策定委員会では、本日資料をお配りしておりますが、その他で委員の皆様にご報告する予定としております。昨年9月に、「学校教育に関するアンケート調査を」小学5年生、中学2年生の児童・生徒とその保護者全員を対象に実施し、その結果の報告を行います。

さらに、昨年12月に市の第6次長期総合計画の基本構想・基本計画がまとまったことに伴い、それを反映して作成している名取市教育振興基本計画の現段階の素案の内容について検討していただく予定としております。

瀧澤教育長

学校教育課お願いします。

大友理事兼学校教育課長事務取扱

2点お話いたします。1点目4ページの1番、生徒指導問題対策委員会です。今年度の第4回目になります。まとめの会議です。今回は不登校等の問題について協議をする予定です。

2点目は4ページ17番、市防災担当者会です。今回は防災用食品を、開発・製造・販売をしている名取市のワンテーブル代表取締役 島田昌幸さんを講師にお招きし、「未来の子ども達のために何を残すか 3.11から復興を目指して」と題してお話をさせていただきます。

瀧澤教育長

生涯学習課お願いします。

大久保次長兼生涯学習課長

生涯学習課から、1点説明させていただきます。4ページ13番、2月8日土曜日10時から名取市図書館及び増田公民館を会場として、令和元年度名取市生涯学習推進大会として「なとりまなびフェスティバル」を開催します。

昨年度までは、男女共同市民参画推進室と市民のつどいを共催で開催しておりましたが、今年度は単独で新たに「なとりまなびフェスティバル」として、生涯学習の必要性や大切さを啓発するために、市内の生涯学習に関する機関や団体が参画するイベントを行うことにより、「学び」を考えるきっかけづくりとすることを趣旨として、開催するものです。当日は、仙台伊達家18代当主伊達泰宗氏の講演、愛島もりあげ隊の皆さんによる創作劇「愛島物語」の上演や、市内各公民館で活動している団体のステージ発表等を予定しております。

詳しい内容等については、チラシを配布しておりますのでご覧ください。

瀧澤教育長

文化・スポーツ課、お願いします。

小松文化・スポーツ課長補佐

文化・スポーツ課からは2点ご説明させていただきます。1点目ですが4ページ8番になります。2月5日水曜日第66回文化財防火デーに伴いまして、防災訓練を重要文化財旧中沢家住宅で、10時より実施いたします。

訓練につきましては、教育委員会の方から消防関係としまして、消防署手倉田出張所、消防団の他、警備会社、防災施設との委託業者、それから旧中沢家住宅に隣接しています松陽苑などの宮城福祉会の皆様、十三塚運動施設を管理していただいている名取市体育協会の職員が参加をしまして、通信通報のほか消防車や旧中沢家住宅に設置しております消防施設による消火訓練等実施する予定です。

2点目は、4ページ27番、2月23日日曜日に、第22回名取市小学生ドッジボール大会を市民体育館で9時より、児童の体力向上と相互の親睦を深め、健全育成に寄与するべく開催する予定です。参加チームにつきましては、18チームになっております。小学生男子の部、女子の部、男女混合の部に分かれまして、試合が繰り広げられます。チームワークで勝利を目指す姿をご覧いただけるとと思いますので、皆様のご声援ご来場をお待ちしております。

瀧澤教育長

復興ありがとうホストタウン推進室お願いします。

佐々木復興ありがとうホストタウン室総括リーダー

復興ありがとうホストタウン推進室からは特にございません。

瀧澤教育長

ただ今説明のあった内容について、ご質疑等ありませんか。佐藤委員。

佐藤教育長職務代行委員

市の防災教育についてです。大川小学校の件で、県の方から新しい取り組みをせよとか、そういうことはないのですか。

大友理事兼学校教育課長事務取扱

特には、連絡等はありません。

瀧澤教育長

いろいろな調査でも、あるいはマスコミからの問い合わせでも、最高裁で確定した判決を受けて、「取り組みとか変更したことはありますか」というような問い合わせはいただいているのですが、名取市では判決前に何回か見直しを行っております。

震災後すぐに見直しを行ったのですが、その後も何回か見直しを行って、独自の防災教育

カリキュラムを作って実際実践もしています。昨年度行ったのは、各学校の防災マニュアルが地域の実状を踏まえたものになっているかどうかということの再点検を行いました。

また、いろいろなケースを想定して、避難経路とか避難場所がきちんと示されているかどうか、一番大きな再点検のポイントとしては、山手の学校であれば、平地の学校と違って土砂災害とか林野火災が心配される。平地であればこの間の台風 19 号の時のように、川の氾濫による洪水とかが想定される。海の近くでは津波が想定される。それ以外にどこの学校でも地震や火災は、想定される。

再点検した結果、地域の実情を踏まえると想定しておかなければならないような災害が一部ちょっと抜けているようなところがありました。昨年度 1 学期に確認、見直しを行い防災マニュアルを整備しています。ですから、判決が出た後、改めて見直しはしておりません。ただ最高裁判決が示されている「学校として高い知見をもって災害時に児童生徒の命と安全を守る」というようなことは、今後もう少し専門的な識見を持った方にご指導いただくとか、そういったことが必要だと思います。

いま佐藤委員からご指摘があったように、県教委でそのための会議を開いていくということですので、県教委から情報を頂きながら取り組んでまいりたいと思っています。

佐藤教育長職務代行委員

十分実効性の高いマニュアルができているということですか。

瀧澤教育長

それが完璧とは言えないのですが、常時見直しが必要だと思います。判決でいわれている自治体で作ったハザードマップや地域の方の意見とかを越える高い識見を各学校が持たなければならない点については、必要な研修、専門家のアドバイスがない現状では、全ての学校で実効性の高いマニュアルができるかということについては、今後の課題となっています。

その他、ご質問等がありますでしょうか。なければ承認いたします。

それでは次に、日程第 4 議事に入ります。議案第 1 号令和 2 年度学校給食費についてを議題といたします。それでは教育部長お願いいたします。

菊池教育部長

議案第 1 号「令和 2 年度学校給食費について」ですが、資料では、6 ページになります。別冊資料として議案第 1 号資料とあります答申書の写しを配付しております。令和 2 年度学校給食費の適正額につきましては、学校給食運営審議会に諮問をしておりましたが、1 月 21 日に当審議会から「小学校、中学校ともに据え置きが望ましい」との答申を受けました。

本件は、この答申のとおり令和 2 年度の学校給食費を一食あたり小学校が 265 円（消費税分 19 円含む）、中学校が 325 円（消費税分 24 円含む）で提案させていただくものです。以上ですが、学校教育課から何かあればお願いします。

瀧澤教育長

学校教育課お願いします。

大友理事兼学校教育課長事務取扱

学校給食費については平成31年4月に、小学校は前年度から10円、中学校は15円値上げをし、給食の充実を図ったところです。様々な条件等を考慮し、次年度については現状の265円と325円という答申書をいただきましたので、それに基づいて令和2年度の学校給食について運営を図っていきたいと思っております。

瀧澤教育長

それでは只今説明がありました議案第1号について、ご質疑・ご意見等がありましたらお願いいたします。佐藤委員。

佐藤教育長職務代行委員

答申の消費税と違うのはどういう理由でしょう。答申の方は小学校が24円と書いてあり、議案の方は19円と書いてあるのですが。

瀧澤教育長

そうですね。消費税相当分が24円、19円と、これちょっと。多分答申の方が正しい。申し訳ありません。議案書の方の小学校265円消費税24円、それから中学校については消費税が29円、議案を訂正した上で再度ご質問等がございましたらお願いいたします。荒井委員。

荒井委員

消費税は、8%ですよ。

佐藤教育長職務代行委員

10%かかっているものもありますね。

瀧澤教育長

確かに。10%ではないよね。

大友理事兼学校教育課長事務取扱

はい、これでいただいております。

瀧澤教育長

消費税額を確認します。暫時休憩して消費税の考え方について確認をします。

【暫時休憩】

瀧澤教育長

再開いたします。学校教育課お願いします。

大友理事兼学校教育課長事務取扱

こちらの議案書の消費税の金額に誤りがありました。大変失礼いたしました。

小学校 1食あたり 265 円、消費税は 24 円。中学校 325 円、消費税 29 円。消費税については 10%の計上となっております。

瀧澤教育長

大変申し訳ありませんでした。議案書は訂正にてお願いしたいと思います。その他給食費に関して質問ご意見等お願いします。よろしいでしょうか。議案第 1 号については承認するというのでよろしいでしょうか。

全委員

なし

瀧澤教育長

はい、ありがとうございます。異議がないと認め、議案第 1 号 令和 2 年度学校給食費についてですが原案のとおり、一部修正して承認とします。本日の議案は以上であります。以上で、本日の会議を終了いたします。

午後 3 時 55 分終了

以上、会議の顛末を記録し、正当なることを証するため、ここに署名する。

令和 2 年 2 月 13 日

署名委員 浅野 かおる

署名委員 洞口 ひろみ